



神戸低侵襲がん医療センター

Kobe Minimally Invasive Cancer Center

広報誌 そよかぜ

2023 年秋号（9 月吉日発行）

診療科紹介

緩和ケア内科

9 月より新たに ^{きむ}金 ^{よんしく}英植 医師が着任されました

～緩和ケアとは～

緩和ケアとは病気に伴う心と身体の痛みを和らげることです。がん患者さんは、がん自体の症状以外に、痛みや倦怠感など様々な身体的症状や、落ち込んだり悲しんだり精神的な症状を経験されます。がんによる心と身体の苦痛をやわらげ、自分らしい生活を送れるようにケアするのが緩和ケアです。

「緩和ケア」は治療ができなくなった方が受ける医療、終末期に受ける医療とされている方がおられますが、緩和ケアは、がん治療の初期段階から、がん治療と一緒に受けるケアであり、体調の変化に併せて、がん治療と併せて行うのが緩和ケアです。これから治療を受ける方、すでに受けておられる方、気になることや不安がある方、まずは遠慮なく主治医にご相談ください。



プロフィール

昭和 38 年に神戸市垂水区で生まれて高校時代まで過ごし、信州大学医学部に進学、卒業に際して神戸大学医学部附属病院（旧第一外科学教室）に入局し神戸に帰ってきました。2 年間の研修医生活を終えて福島県いわき市のいわき市立総合磐城共立病院で 1 年間の外科医として研鑽をつみ、再び神戸大学医学部大学院で 4 年間の研究生活を送ってからは神戸市や近隣の病院で消化器外科医として勤務してきました。この間のがん治療の進歩は目覚ましいものがあり治療成績とともに、より低侵襲ながん治療へと主流が変わってきました。

私も約 10 年前から手術を担当した患者さんの抗がん剤治療や緩和医療もそのまま継続することが多くなり、その中で感じたことはがん治療が主体ではあるもののそれを補完する治療として緩和ケアが必要だということでした。がん治療に伴うつらさを軽減できればより長く治療を続け、より質の高い生活（Quality of Life）を送ることができます。

この度、令和 5 年 9 月より

神戸低侵襲がん医療センター（KMCC）の緩和ケア内科の医師として勤務することになりました。今までの臨床経験を活かして患者さんの症状緩和を目指していきたいと考えています。



緩和ケア内科 部長
金 英植

緩和ケア認定看護師

当院には緩和ケア認定看護師がいます。

認定看護師とは特定の分野において高度な知識・看護技術を持っている看護師として、日本看護協会の認定を受けた看護師です

看護を実践するうえで、患者さんご家族の苦痛を和らげ自分らしく過ごせるための支援と家族ケアを大切にしています。患者さんご家族の話をお伺いし、アセスメントを元に身体的、精神的、社会的・霊的（スピリチュアル）の4方向（トータルペイン）からの苦痛に対し、多職種と専門的な知識や技術を活かしながらサポートを行っています。

近年は緩和ケアの重要性が認知され、概念が新しくなってきましたが、まだまだ「緩和ケア＝終末期」というネガティブなイメージが強い実情があります。

当院はがん専門病院として

「緩和ケア＝告知から患者・家族とともに歩んでいく緩和医療」であることを周知していただけるように啓発活動も行っています。



※当院には緩和ケア認定看護師以外に、がん化学療法看護認定看護師もいます。

LINE 公式アカウント

病院からのお知らせだけでなく、
予約や変更依頼などの相談にも
ご利用ください。



【面会について】 ※2023年8月時点

コロナ感染症の5類移行に伴い面会制限を緩和しましたが県内における感染者数の増加にともない下記制限をしております。ご理解ご協力の程、よろしくお願いいたします。

- 家族のみ可（家族以外の方は面会不可）
- 13：00～20：00の間で15分のみ（2名まで入室可）

※体調不良や咳など風邪症状などある場合は面会をご遠慮ください。



神戸低侵襲がん医療センター

〒650-0046 兵庫県神戸市中央区港島中町 8-5-1

地域医療連携室 TEL：078-304-7780 FAX：078-304-7782

予約専用ダイヤル：078-304-5480（平日 8：30～17：00）